

地理文化講演会

「可視マップ」で探る東京から見える山々

～今、山座同定が面白い！～

場 所：日本地図センター1階会議室

(東京都目黒区青葉台4-9-6)

日 時：2018年2月24日(土) 14時～16時

定 員：先着80名 ※どなたでも参加できます。

参加費：無料

講 師：田代博(日本地図センター相談役)

申 込：先着順に受け付けます。2月20日(火)までに、地図倶楽部事務局宛にメール<map-club@jmc.or.jp>またはファクス(03-3485-5593)でお申込みください。

※お名前・電話番号・地図倶楽部会員の方は会員番号を明記してください。

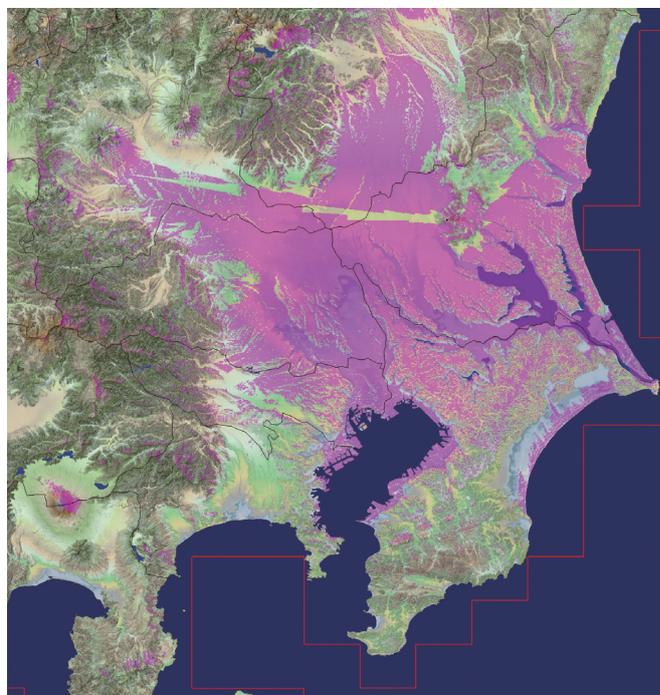
※本講演会は測量系CPDプログラムの認定対象です。受付時に申し出てください。

東京は山がよく見える都市です。「望岳都」と呼ばれる理由です。特に、西高東低の気圧配置になる冬場は絶好の展望シーズンです。2月下旬はそろそろ見えにくくなりますが、まだチャンスはあります。富士山はもちろん、丹沢、奥多摩、奥秩父、北関東の山々、筑波山、さらには南アルプスまで眺めることができます。

あの山はどこから見ることができるか、それを地図にしたものが「可視マップ」です。可視マップを使うと、ここからこんな山が見えるのかという、思いがけない発見があります。その可視マップは、カシミール3Dという地図ソフトで描けます。山座同定(見えている山の名を知ること)にも、カシミール3Dは不可欠です。

地図(可視マップ)や地図ソフトを使い、実際の写真を見ながら、東京から見える山々の山座同定を行い、町から山を眺める楽しさをご一緒に体験したいと思います。2016年12月に日本地図センターで開催した第17回「地図ふえす」(地図と写真で見る「望岳都」東京)を大幅にバージョンアップしたものとお考えください。

講演会当日2月24日(土)は、2月23日「富士山の日」の翌日です。講師は富士山遠望鑑定士という肩書きも持っています。富士山に関するレアな情報もお伝えする予定です。



カシミール3Dで作成した筑波山可視マップ



北とびあ(北区)から見た筑波山 2018年1月4日撮影



文京シビックセンター(文京区)から見た南アルプス
白いピークは南アルプスのどこでしょうか?

2017年12月9日撮影